

A1クラブ主催コンテストの電子ログ受付について

【電子ログの受付について】

A1クラブ主催コンテストログの確認については、「第4回A1クラブコンテスト」よりコンピュータでチェックを始めています。

このためコンテスト書類(電子ログ)の提出を推奨し、JARL形式を推奨しましたが、コンテスト終了後に皆さんから送られてきたJARL形式のフォーマットの種類があまりにも多く、ログのデータ取り込みミスの修正等で省力化ができません。

【電子ログの推奨フォーマットについて】

次回の「第6回 Let's A1 コンテスト」からは、バリエーションの多様なJARL形式から、バリエーションの殆どない「Cabrillo」形式に推奨形式を変更します。(Cabrillo形式はWW / ARRL / WPX等のメジャーなDXコンテストの推奨フォーマットです、Cabrillo形式をマスターして、DXのビッグコンテストにログを提出してみませんか)

JARL形式も継続して受け付けますが、JARL形式はフォーマットを柔軟すぎるため、推奨するフォーマットを公開させていただきます。

【電子ログの提出先について】

コンテストログが完成したらテキスト形式のファイル(コールサイン.txt)として、メールに添付して以下のアドレスに送付願います。(本文に記入した時、メーラの設定によりデータが途中から改行される事があるため)

afctest@yahoo.co.jp

【ログ作成上の注意事項】

Cabrillo形式

- ・各タグ名の後ろのコロン(:)の後ろに半角スペースを挿入する。
- ・コンテスト名および参加部門は規定の名前を記入する。(間違えているとロボットからエラーメールが返信されます。逆に良く判らない場合は返信されたエラーメールにコンテスト名や参加部門の記入例が出ているので修正して再提出する。)
- ・ログ部分の各項目の開始位置は絶対に変更しないで下さい。項目の長さより長いデータを受信した場合は、記入可能分だけ記入しはみ出た部分は切捨てます。
- ・各項目の区切り位置には必ずスペースを記入する。

JARL形式

- ・時間に0123Jのように“J”や“Z”を付加しないで下さい。

共通

- ・ログデータは文字幅の変わらないIMSゴシックかMS 明朝で作成確認する。文字幅の変更になるMS Pゴシックや、MS P明朝は絶対に使用しないこと。

【提出ログのエラーについて】

提出して頂いたログに以下のような不備がある場合は、減点とする場合がありますので、提出の際は再確認をお願いします。

- ・マルチの誤記入(JCC番号,県番号,未記入)
- ・コールのご記入(他のコール/エリアやQRPの漏れ)
- ・他のコンテストデータを提出

【参考情報】

以下のサイト情報を基にフォーマットの説明書を作成しています。詳細について知りたい場合はこちらのサイトで確認をお願いします。

<http://www.kkn.net/~trey/cabrillo/>

http://www.cqww.com/cbr_info.htm

Let's A1 コンテスト Cabrillo Log Format

Cabrilloフォーマット

凡例：各局のデータに合わせて記入（**必須項目**） 各項目を記入するための説明
 データを特定するためのタグ名 Let's A1用に独自に追加したタグ名

START-OF-LOG: コロン(:)の後ろに半角スペースを全行に記入【必須】
 CALLSIGN: **JO1ZZZ** 【コンテストで送信したコールをそのまま記入、/エリア、/QRPを忘れずに】
 CATEGORY: **一般局 / QRP / SWL** 【何れか一つを残し、他は削除する】
 CLAIMED-SCORE: 1234 【有効交信で再計算するため、未記入も可】
 CONTEST: **Let's-A1**
 NAME: **A1 太郎**
 ADDRESS: **・・・県・・・市・・・区・・・1-1-4**
 SOAPBOX: **・・・** 【コメントを記入】
 SOAPBOX: **KEY: ハイモンド HK-1Z** 【使用した電鍵を記入（自作、メーカー名、型式）】
 SOAPBOX: **EQUIPMENT: 自作** 【使用した無線機を記入】
 SOAPBOX: **POWER: 50** 【使用した最大空中線電力を記入】
 SOAPBOX: **ANTENNA: DP** 【使用したアンテナを記入】
 SOAPBOX: **SENIOR: YES / NO** 【何れか一つを残し、他は削除する。未記入はNOとする】
 QSO: **3500 CW 2004-11-31 1211 JO1ZZZ/1 599 03 JA1*** 599 04**
 QSO: **14000 CW 2004-11-31 1311 JO1ZZZ/1 599 03 8J1***/1 599 88**
 QSO: **21000 CW 2004-11-31 1411 JO1ZZZ/1 599 03 8N4*** 599 92**
 QSO: **50000 CW 2004-11-31 1511 JO1ZZZ/1 599 03 JA*RL/QRP 599 73**
 QSO: **7000 CW 2004-11-31 1611 JO1ZZZ/1 599 03 JO1*** 599 03**
 END-OF-LOG:

ログ部分の説明

データのカラム位置を合わせるための指標で、その項目の記入位置を表示。通常は81桁

```

00000000111111111111111122222222222333333333334444444444555555555556666666666777777777788
123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901
-----info sent----- -----info rcvd-----
QSO: freq mo date time call rst exch call rst exch t
QSO: ***** ** yyyy-mm-dd nnnn ***** nnn ***** ***** nnn *****
QSO: 3500 CW 2004-11-31 0711 JO1ZZZ 599 03 JA1QRP 599 23
QSO: 3500 CW 2004-11-31 0711 JO1ZZZ 599 03 JA1QRP 599 23
    
```

この部分は項目の位置説明用なので提出ログには記入しない。

freq : 使用した周波数【単位: KHz】を記入
 【バンドが特定できれば、実際に運用した周波数でなくても良い】
mo : モードはCW固定

date : 年月日をyyyy-mm-dd形式で記入

time : 時刻【J S T】を4桁の数字で記入する。【12:00や1200JはNG】

info sent

call : コンテストで送信したコールを記入

【/エリアや/QRPを付けて運用した場合、これを記入しないと照合されない】

rst : コンテストで送信したRSTを記入

exch : コンテストで送信したマルチを記入

info rcvd

call : コンテストで受信したコールを記入

rst : コンテストで受信したRSTを記入

exch : コンテストで受信したマルチを記入

t : 未記入【2TXの時のみ記入】

文字幅を自動調整するMS Pゴシックでは文字位置がずれる為確認できない

文字幅が固定している、MSゴシックまたは、MS明朝で確認する

Let's A1 コンテスト JARL Log Format

JARLフォーマット

凡例：各局のデータに合わせて記入（必須項目） 各項目を記入するための説明
データを特定するためのタグ名 Let's A1用に独自に追加したタグ名

1. サマリーシート記入方法

- ・コンテストの集計で使用する以下の項目を記入。必須項目は必ず記入。
- ・以下にない項目はサマリーシートに記入されていてもチェックしない。

```
<SUMMARYSHEET VERSION=R1.0>
<CONTESTNAME> Let's-A1 </CONTESTNAME>
<CATEGORYNAME> 一般局 / QRP / SWL </CATEGORYNAME> 【何れか一つを残し、他は削除する】
<CALLSIGN> J01ZZZ/QRP </CALLSIGN>
  【コンテストで送信したコールを記入、/エリアや/QRPを忘れずに】
<ADDRESS> ・・県・・市・・区・・・ 1 - 1 - 4 </ADDRESS>
<NAME> 電信 太郎 </NAME>
<POWER> 50 </POWER> 【使用した最大空中線電力を記入】
<KEY> ハイモンド HK-1Z </KEY> 【使用した電鍵を記入（自作、メーカー名、型式）】
<EQUIPMENT> FT-??? </EQUIPMENT> 【使用した無線機のみを記入】
<ANTENNA> DP </ANTENNA> 【使用したアンテナを記入】
<SENIOR> YES / NO </SENIOR>
  【何れか一つを残し、他は削除する。未記入またはこの行がない場合はNOとする】
<COMMENTS>次回もがんばりたいと思います。 </COMMENTS>
</SUMMARYSHEET>
<LOGSHEET TYPE= >
mon day time callsign sent rcvd multi MHz mode pts
4 28 2254 JM1LRQ 5910M 5913M 13 7 SSB 1
4 28 2255 JK1JHU 5910M 5910M 10 7 SSB 1

  ~~~~~ 中略 ~~~~~

4 29 2057 JN3PYQ/1 5910M 5910M 10 14 SSB 1
4 29 2058 JF1SQC 5910M 5911L 11 7 SSB 1
4 29 2059 JH8KYU/1 5910M 5911M 7 SSB 1
</LOGSHEET>
```

ログ部分の説明

- ・各項目の間に区切り符号（スペース、コンマでもOK）を入れる。
- ・<LOGSHEET TYPE=??>の次の行に必ず項目名の行を入れる。この項目名をもとにデータを取込む。下の例を参考にデータの順位合わせて項目名を順に並べる。
- ・周波数の単位はMHz / KHzの何れでも可能。
- ・例と異なるデータのために項目名を追加。

月日 6/6 date

RSTとNRの間に区切り符号を入れた場合 599 00 送信：sen1 受信：rec1

```
<LOGSHEET TYPE=??>
mon day time callsign sent rcvd multi MHz mode pts【スペース区切りの例】
4 28 2254 JM1LRQ 5910M 5913M 13 7 SSB 1
4 28 2254 JM1LRQ 5910M 5913M 7 SSB 1
</LOGSHEET>
```

WW DX コンテスト Cabrillo Log Format

Cabrilloフォーマット

WWコンテストのサマリー部分は以下のようにいたってシンプルです。A1コンテストでログを提出した方はもう簡単にDXコンテストにも電子ログを提出できますね。

ログ部分で、A1クラブ主催コンテストとWWコンテストの差はtimeをJSTで書くかGMT書くかで、他は同一に作成すればOKです。

START-OF-LOG:
 CALLSIGN: J01ZZZ 【コンテストで送信したコール】
 CATEGORY: MULTI-MULTI 【右の表から選択】
 CLAIMED-SCORE: 【自動計算されるので未記入でもOK】
 CONTEST: CQ-WW-CW/CQ-WW-SSB
 NAME: 【名前を記入】
 ADDRESS: 【住所をを記入】
 ADDRESS:
 OPERATORS: 【マルチの時オペレータ名を記入】
 SOAPBOX: 【コメントを記入】
 SOAPBOX:
 QS0: 3799 CW 2000-11-26 0711 N6TW 59 03 K9QZO 59 04 0
 QS0: 14256 CW 2000-11-26 0711 N6TW 59 03 P29AS 59 28 0
 QS0: 21250 CW 2000-11-26 0711 N6TW 59 03 4S7TWG 59 22 0
 QS0: 28530 CW 2000-11-26 0711 N6TW 59 03 JT1FAX 59 23 0
 QS0: 7250 CW 2000-11-26 0711 N6TW 59 03 WA6MIC 59 03 0
 END-OF-LOG:

CATEGORY: SINGLE-OP ALL HIGH
 CATEGORY: SINGLE-OP 160M HIGH
 :
 CATEGORY: SINGLE-OP 10M HIGH
 CATEGORY: SINGLE-OP ALL LOW
 CATEGORY: SINGLE-OP 160M LOW
 :
 CATEGORY: SINGLE-OP 10M LOW
 CATEGORY: SINGLE-OP ALL QRP
 CATEGORY: SINGLE-OP 160M QRP
 :
 CATEGORY: SINGLE-OP 10M QRP
 CATEGORY: SINGLE-OP-ASSISTED ALL
 CATEGORY: SINGLE-OP-ASSISTED 160M
 :
 CATEGORY: SINGLE-OP-ASSISTED 10M
 CATEGORY: MULTI-ONE
 CATEGORY: MULTI-TWO
 CATEGORY: MULTI-MULTI
 CATEGORY: CHECKLOG

ログ部分の説明

データ範囲に合わせて、ログのデータを作成する

```
0000000001111111111222222222233333333344444444455555555566666666677777777788
12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901
-----info sent----- -----info rcvd-----
QS0: freq mo date time call rst exch call rst exch t
QS0: ***** ** yyyy-mm-dd nnnn ***** nnn ***** nnn ***** n
QS0: 3500 CW 2004-11-31 0711 J01ZZZ 599 03 JT1Z 599 23
QS0: 3500 CW 2004-11-31 0711 J01ZZZ 599 03 JT1Z 599 23
```

freq: 使用した周波数【単位: KHz】を記入
 【バンドが特定できれば、実際に運用した周波数でなくても良い】

mo: モードはCW/PH

date: 年月日をyyyy-mm-dd形式で記入

time: 時刻【GMT】を4桁の数字で記入する。

info sent

call: コンテストで送信したコールを記入

rst: コンテストで送信したRSTを記入

exch: コンテストで送信したマルチを記入

info rcvd

call: コンテストで受信したコールを記入

rst: コンテストで受信したRSTを記入

exch: コンテストで受信したマルチを記入

t: MULTI-TWOの時に使用した送信機番号を記入

文字幅を自動調整するMS Pゴシックでは文字位置がずれる為確認できない

文字幅が固定している、MSゴシックまたは、MS明朝で確認する

Cabrilloコンテストログの見本

Cabrilloの見本

Cabrillo形式のログ出力ができないログソフトで且つ交信局数の少ない方は、以下のサンプルを修正すると案に作成ができます。

1. A1クラブ主催のコンテストログ

START-OF-LOG:
CALLSIGN: JA8JCR
CATEGORY: QRP
CLAIMED-SCORE:
CONTEST: A1クラブ
NAME: 松田 幸良
ADDRESS: 江別市文京台東町 1 8 - 8
SOAPBOX: みなさんコンテストに参加お願いします。
SOAPBOX: KEY: ハイモンド HK-1Z
SOAPBOX: EQUIPMENT: IC-***
SOAPBOX: POWER : 5
SOAPBOX: ANTENNA: DP
SOAPBOX: SENIOR: NO
QSO: 14000 CW 2004-06-06 1212 JA8JCR 599 72 JK7UST 599 77
QSO: 14000 CW 2004-06-06 1214 JA8JCR 599 72 JA6JMJ 599 73
QSO: 14000 CW 2004-06-06 1216 JA8JCR 599 72 JJ1BDX/3 599 79
QSO: 7000 CW 2004-06-06 1557 JA8JCR 599 72 JA3XOG 599 70
QSO: 7000 CW 2004-06-06 1559 JA8JCR 599 72 JH7VOT 599 77
END-OF-LOG:

2. WWコンテスト

START-OF-LOG:
CALLSIGN: JA8JCR
CATEGORY: SINGLE-OP ALL LOW
CLAIMED-SCORE:
CONTEST: CQ-WW-CW
NAME: Yukiyoshi Matsuda
ADDRESS: 18-8,Bunkyodai-Higashimachi
SOAPBOX: What a great contest!
SOAPBOX:
QSO: 28000 CW 2000-11-25 0031 JA8JCR 599 25 VE7SV 599 03
QSO: 28000 CW 2000-11-25 0032 JA8JCR 599 25 WOAIH 599 04
QSO: 28000 CW 2000-11-25 0033 JA8JCR 599 25 VA7RR 599 03
QSO: 28000 CW 2000-11-25 0034 JA8JCR 599 25 KG7H 599 03
QSO: 28000 CW 2000-11-25 0039 JA8JCR 599 25 K5GO 599 04
END-OF-LOG:

3. テキストデータのコピー

上のサンプルをコピーするには、シフトキーを押しながら「V」キーを押します。そうすると右の画面の選択方法が変わります。何回かクリックして「テキスト選択ツール」に設定して下さい。この状態でPDFファイルのコピーしたい部分をドラッグして文字を反転させてからコピーします。後はメモ帳等にペーストして活用願います。

